

いつもの

川崎市からの紙おむつ等給付商品を、毎月1回皆様のところへ配達しています。自分が配達するようになってから、長い方だと1年以上、毎月お邪魔をしています。

さすがに回数多く訪問をすると、色々なことを覚えてきます。地図を見ずに家まで辿り着けるのは当然として、在宅している曜日や時間帯、携帯電話に出やすいタイミング等。電話で声を聴けば、誰の家族かおおよそ分かるようになりました。

ご家族も同じです。こちらから電話をすれば、名乗り終える前に「今月の紙おむつの件ね」「いつもどうも」などと声を掛けてくれます。月に1回の、短時間のやりとりだとしても、顔を合わせ、コミュニケーションをとっていることで、多少なりとも安心感を持って下さっているのかな、と思います。

訪問の最後に、次回の注文についてご家族へ尋ねます。「いつもと同じで良いですか」「いつもの組み合わせに戻しますか」「いつものように商品が決まったら、電話してください」等。「いつも通りで」「いつものように連絡します」等々の答えが返ってきます。「いつもの」で互いにつながるこの関係が、とても素敵なものだなと感じています。(2021年5月)

